

2年次前期・必修

1単位・15時間

【概要・目標】

現在、世界に類を見ない速度で少子・高齢化が進んでいる我が国において、社会福祉の重要性は増大している。特に、急増する高齢者の介護の分野においては、その理念や制度のあり方を根本から問い直す、大きな転換期を迎えている。

本講義では、社会福祉を支える制度や理論を学ぶとともに、社会福祉の各分野における先駆的な実践事例を紹介する。

机上の論理にとどまらず、講義やグループワークを社会福祉活動を行う上で必要な力を身につけることを目標とする。

【授業内容・スケジュール】

1. オリエンテーション
 2. 我が国の社会福祉を取り巻く状況
 3. パーソンセンタードケア—認知症ケアの「古い文化」と「新しい文化」
 4. 社会福祉の新しい潮流—小規模多機能ケアと共生ケア
 5. ボランティアと社会福祉—実践的ボランティア論
 6. スウェーデンに学ぶ社会福祉—これからの社会福祉のあり方
 7. まとめ—ほんとうの社会福祉とは
-

【評価】

レポート（80%）、授業への出席・貢献（20%）

【教科書】

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

【推薦参考図書】

大熊由紀子 『「寝たきり老人」のいる国いない国』 ぶどう社 1990年

トム・キットウッド 『認知症のパーソンセンタードケア』 筒井書房 2005年

【その他】